

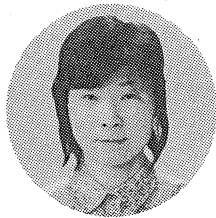
# 介護

## の現場から

### その36

平成4年5月、鶴岡市の委託を受け、在宅介護支援事業を市内で最初にスタートさせたのが、健康園在宅介護支援センターです。当時は鶴岡市全域を2名の従業員(保健師、ソーシャルワーカー)で大変忙しく活動しておりました。在宅の高齢者やご家族が福祉を身近に感じられるようになったのはこのころからではないでしょうか。

そのころは「幸会に、



健康園在宅介護支援センター所長 阿部 邦子

介護福祉士の資格を持つ従業員は少なく、もちろん介護支援専門員の制度もありませんでした。現在は「幸会に多数の有資格者がおり、そのうち5名の支援専門員が第一学区、第四学区を担当しています。」

今年3月に前任の所長の退職により私が仕事を引き継ぐことになり、その責任の重さ、仕事の広範なことに「これは、大変なことになった」と身

## 先輩の思いを受け継ぎ

も縮む思いです。しかし、前所長が長い年月をかけて健康園支援センターを作り上げてこられたご苦労や、後輩にたくさんのごことを教えてくださったことは決して忘れることはできません。

援助が必要と連絡が入ればすぐに駆けつけて、状況を確認し、適切なサポートにつなげています。一度の訪問で援助が困難な場合は、何度も足を運んで信頼関係を築くことが大切です。熱意とやさしさが人の心に伝わるのだと、その後ろ姿を見な

## 大切な財産を発展させる

から学んだのです。

スタートから16年間、常に地域高齢者の方々が元気に安心した生活を経営することを願ひ活動しています。ボランティアさんは、「変わりの週一回のペースで続いている活動が、いいな」と思っていたことが昨年ようやく実現しました。その

手では、池幸園で作った食事を、地域のボランティアの手で地域の高齢者の方に届けていた。高齢者配食サービスです。



いつでも私たちにご相談ください。

して気軽に利用していただいております。

「お茶会」では、従業員がお抹茶を立てて和菓子をいただきます。「演奏会」では、尺八の演奏を楽しみ、音色に合わせて歌い、「尺八の響きをじかに感じ感動した」と話していました。そのほか、今年もさまざまな楽しい催しを企画しています。

これらの事業が実現するまで惜しみなく力を注がれた前所長の思いを受け継ぎ、大切な財産としてさらに発展させていきたいと思っております。

第四学区社会福祉協議会 第四学区社会福祉協議会 第四学区社会福祉協議会 第四学区社会福祉協議会 第四学区社会福祉協議会 第四学区社会福祉協議会 第四学区社会福祉協議会 第四学区社会福祉協議会 第四学区社会福祉協議会 第四学区社会福祉協議会

このコーナーは第2、第4水曜日付に掲載予定です。